

令和7年度 建築施工系建築設計科 指導教程基準（建築製図科）

（普通課程）

訓練目標		職業訓練指導員の指示のもとで、建築物の製図及び簡単な設計ができる程度の技能及び関連知識について訓練し、中・小規模建築物における建築一般、設計製図、施工管理及び建築施工に関する基礎的处理ができるとともに、将来の中堅幹部となりうる素地を与え、職業人として自覚させる。
指導段階	第1期	学校生活への適応をはかりながら基本実技に重点を置き、これに必要な関連学科の指導に重点をおく。
	第2期	前期に引き続き関連学科を指導し、総合基本実技の活用ができ、さらに応用実技の指導に重点を置く。
	第3期	技能の熟練度を高め、多種多様なニーズに適應できる能力を養うよう、専攻実技を中心に指導する。

教科		基準	教科の科目	基準時間	科 目 の 細 目
学 科	普通 学 科		社 会	32	職業講話 交通講話 OT キャリアコンサルティング（ジョブカード） 施設見学
			小 計	32	
	系基 礎 学 科	☐	建築概論	10	建物の概要 建築物の種類 建築史
		☐	構造力学概論	30	力の釣り合い 荷重と外力 応力 断面の性質
		☐	建築構造概論	60	木造建築 プレハブ建築 枠組壁建築 鉄筋コンクリート造建築 鉄骨造建築
		☐	建築計画概論	40	全体計画 各部の計画 計画の進め方 建築環境
		☐	建築生産概論	20	機械 工程管理 資材管理 生産管理 契約事務
		☐	建築設備	20	設備計画 給排水設備 電気設備 空調設備 その他の設備
		☐	測 量	10	測量一般 測量機器 敷地測量 図面及び計算
		☐	建築製図	20	製図用具及び用紙 製図通則 建築製図の概要
		☐	安全衛生	20	安全衛生管理 安全衛生関係法規 安全作業法 安全衛生特別教育（足場の組立て等の業務）
		☐	関係法規	20	建築基準法 建設業法 建築士法
			小 計	250	
	専攻 学 科	☐	構造力学	50	静定構造物 不静定構造物 応力と変形 断面算定
		☐	建築構造及び材料	90	鉄筋コンクリート構造 鉄骨構造 木構造 その他の構造 材料
		☐	建築計画	50	意匠計画・構造計画・設備計画の進め方 各種建築物の建築計画
		☐	建築設計	50	各種建築物の設計 建築設計図の種類及び内容 C A D ・ C G
		☐	建築施工法	60	仮設工事 土工事 鉄筋コンクリート工事 鉄骨工事 木工事 仕上げ工事 仕様及び積算
			小 計	300	
	学 科 合 計			582	
実 技	系基 礎 実 技	☐	機械操作基本実習	90	機械使用法 C A D 操作 O A 機器操作
		☐	測量基本実習	30	水準測量 角測量 測量図
		☐	安全衛生作業法	30	安全衛生作業法
			小 計	150	
	専攻 実 技	☐	木造建築設計実習	130	木造建築物の設計及び製図
		☐	S造建築設計実習	70	鉄骨造建築物の設計及び製図
		☐	RC造建築設計実習	100	鉄筋コンクリート造建築物の設計及び製図
			設計製図基本実習	50	製図用具の取り扱い 線・文字・数字の練習 投影図法・透視図法による建築物の図面表現
			施工図作成実習	20	建築施工用図面の作成
			建築積算実習	42	木造・RC造・S造建築物部材の数量拾い及び積算技法
			CAD操作実習	130	CADによる図面作成 プレゼンテーション技法 ワープロ・表計算ソフト操作
			応用設計製作実習	140	各種課題の応用製作 自主課題による作品の制作 技能照査（実技）
		小 計	682		
	実 技 合 計			832	
訓練時間（学科・実技合計）			1414		
行事			8	入学式 修了式	
全体訓練時間			1422		